

# 抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 21年 10月 5日											
申請者	所属科:外科	医師名: 塚原 康王 <span style="float: right; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>										
抗がん剤プロトコール内容												
略名	XELOX+BV											
適応臓器名	進行・再発大腸癌											
薬剤名	カペシタビン錠(商品名:ゼローダ錠)(Cape) オキサリプラチン注射用(商品名:エルプラット注射用)(L-OHP) ベバシズマブ注(商品名:アバスチン点滴静注用)(BV)											
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること。											
用法・用量・投与スケジュール												
3週(21日間)を1コースとして繰り返す。												
day 1												
1) 前投薬:5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤+デカドロン 8~20mg												
2) ベバシズマブとして1回 7.5mg/kg(体重)を90分間かけて点滴静脈内注射する。												
注)初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行ってもよい。2回目においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。												
3) オキサリプラチンとして1回 130 mg/m <sup>2</sup> (体表面積)をバッグに入れて2時間かけて点滴静脈内注射する。												
4) その夕食後30分以内にカペシタビンとして下記の体表面積表にあわせて経口投与する。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">体表面積</th> <th>1回用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.36 m<sup>2</sup>未満</td> <td>1200mg</td> </tr> <tr> <td>1.36 m<sup>2</sup>以上 1.66 m<sup>2</sup>未満</td> <td>1500mg</td> </tr> <tr> <td>1.66 m<sup>2</sup>以上 1.96 m<sup>2</sup>未満</td> <td>1800mg</td> </tr> <tr> <td>1.96 m<sup>2</sup>以上</td> <td>2100mg</td> </tr> </tbody> </table>			体表面積	1回用量	1.36 m <sup>2</sup> 未満	1200mg	1.36 m <sup>2</sup> 以上 1.66 m <sup>2</sup> 未満	1500mg	1.66 m <sup>2</sup> 以上 1.96 m <sup>2</sup> 未満	1800mg	1.96 m <sup>2</sup> 以上	2100mg
体表面積	1回用量											
1.36 m <sup>2</sup> 未満	1200mg											
1.36 m <sup>2</sup> 以上 1.66 m <sup>2</sup> 未満	1500mg											
1.66 m <sup>2</sup> 以上 1.96 m <sup>2</sup> 未満	1800mg											
1.96 m <sup>2</sup> 以上	2100mg											
day 2-15												
上記の体表面積にあわせてカペシタビンとして朝食後と夕食後30分以内に1日2回、15日目の朝食後まで、連日経口投与後、7日間休薬する。												
day 2-5まで、5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤(シンセロン錠)を経口投与する。												
Evidence	NCCN ガイドライン。 大腸癌治療ガイドライン。 ASCO2006年制吐剤ガイドライン											
備考												
がん化学療法委員会承認日: <b>22.1.15</b>												